

令和六年の新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、世界を見渡しても、ロシア・ウクライナ戦争の終結が見えず、イスラエルではハマスのテロで新たな内戦状態が勃発しました。

隣国の支那は、尖閣に連日、海警部隊という「軍隊」を配備し、日本の領土を公然と侵してきています。日本の海上保安隊は、国内を取り締まる「警察」です。

軍隊には、軍隊が対応するのは、国際常識です。自国の領土・領海を侵犯したら、打ち殺されても文句が言えないのです。しかし、日本は、遠くから、「領土から出なさい」と、マイクで言うだけです。だから日本は、支那になめられるのです。

現在の戦争は、「武力以外が八割」サイバー攻撃を中心になっているといわれています。ロシアは、二〇一四年の、クリミア併合時も、通信網を麻痺させてから、攻め込みました。今回、ウクライナは、事前に察知し、同じ轍を踏みませんでした。

日本は、この非常に重要な、この時期に手をこまねいていいのでしょうか？

近年の日本の歴史を見れば、参考になる事実があります。

昭和十六年十二月八日の日米開戦の「真珠湾攻撃」を、東條英機は知らなかったといいますが**優先されていたのです。**

財務省は、国益ではなく省益を優先して恥じません。経済成長よりも、増税が優先されます。彼らには彼らなりの正義があります。それは「財政法第四条」の均衡財政にあります。しかし、これも国益という尺度で見たら、小さいものです。

安倍晋三と言う世界的大政治家を失い、それを引き継ぐべき政治家に「政治信条」が無く、政治家としてのプライドも自信も無いのが、現代日本の大問題です。

中小企業の社長である我々は、この現状を、どうする事も出来ないのでしょうか？
成り行き任せで良いのでしょうか？

我々、中小企業の社長が、立ち上がる以外に、日本を守る道はありません。

今こそ、「経営理念」を、深く広く、じっくりと見直し、血肉化することです。

経営理念が、掲げているだけになっていませんか？

経営理念を、唱えているだけになっていませんか？

経営理念の実現こそが、一人一人の社員を良くし、我社を良くし、日本を良くすることになるのです。それが、日本を守る一番大事な根本になるのです。

社長、まず我が社が、我が社の一隅を照らし、日本中の社長が、日本中の一隅を照らし、日本を守る人柱になり、素晴らしい令和六年にして参りましょう。

今月のポイント

経営理念で一隅を照らしていこう!!

